

おおづまち議会だより

0ZU

96号
6月定例会

CONTENTS

- 新規事業に対する皆さんの声 …………… 3
- 尚綱大学生によるレポートと意見交換会……………14



本会議動画配信
はじめました



新庁舎ではじまった窓口業務

議会を観ての生の声

6月定例会の傍聴者数のべ23人、動画再生回数 1,195回 (7/20時点) ※動画は表紙の二次元バーコードからご覧いただけます



こうぞうさん
(熊本市)

優しい町へ前進する瞬間に立ち会えた

僕以外にも町民の方々が傍聴しており、内心、「拒絶する声上がるかも…」と緊張していました。

町長からLGBTなど性的少数者カップルの関係を公的に認めるパートナーシップ制度の導入に向け動く力強い回答があり、町民の方に目を向けると、高齢の男性がうんうんと静かに頷いていました。

その時、不安に思っていた気持ちが安堵感へと変化しました。

この制度に法的効力はありませんが、当事者にもたらす効果のひとつは、「この場所に存在しているのだ」と思わせてくれることだと思います。

大津町がより一歩、優しい町へ前進する瞬間に立ち会えたことを嬉しく思います。ひとりの当事者としてお礼を申し上げます。



おの みつし
小野 満司さん
(室)

議会を全力で応援していきたい

これまで転勤で宮崎、福岡と移り住み、退職を機に故郷熊本へ、そして、家内の実家がある大津町へ移り2年目になります。

今回初めて、大津町議会の一般質問を傍聴しましたが、一人の声を大切に、一人に寄り添い、地域の問題、現状をわかりやすく質問される姿に感謝で一杯になりました。

コロナ禍ではありますが、大津町がより良く、そして住みやすくなるための町づくりを今後も続けていただき、私達町民としても議会を全力で応援していきたいと思えます。

傍聴から はじめよう!!

どなたでも傍聴できます!!

次回定例会(予定)
9月6日(月)10時~
新庁舎4階議場



UD
FONT
即や早く読み書きがたい
ユニバーサルデザイン
を採用しています。

この議会だより
はリサイクル紙のため
再生紙を利用しています。

おおづまち議会だより 96号

編集：(委員長) 三宮 美香 / (副委員長) 豊瀬 和久
(委員) 時松 智弘 / 田代 元氣 / 大村 裕一郎
発行責任者：(議長) 桐原 則雄



編集後記

新型コロナウイルスの円滑接種に向けた取り組みが進んでいます。一日も早く希望する方々への接種が終わるよう全力で後押ししていきたいと思えます。

改選後5ヵ月が過ぎ、新しい広報委員会のメンバーで2月号の編集となりました。この「議会だより」を通して、それぞれの議員がどのような発言をしているのか。そして、一般質問でどのようなことを取り上げて、町長からどのような答弁を取り付けたかなど、議員の活動を知る一助となるよう、読者の皆様からの大切なお声を取り入れながら、わかりやすく、ためになる紙面づくりに取り組んで参ります。



副委員長 豊瀬和久

令和3年8月2日 第96号 発行 / 熊本県菊池郡大津町議会 編集 / 議会広報編集特別委員会 印刷 / 創文印刷
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎ (096) 293-8989

誰もが 住みたくなるまちへ

▶公園施設長寿命化対策事業関連



8,540万円

ふじさか ふくこ
藤坂 富久子さん(矢護川)

杉水公園に行った時にトイレが古くていい印象がありませんでしたが、トイレが新しくなるということで喜んでます。これからも清掃などの管理をお願い致します。

▶矢護川コミュニティセンターの改修



2,726万円

いまいら みつえ
今村 光恵さん(矢護川)

熊本地震の時に矢護川コミュニティセンターに避難しましたが、トイレが不便でしたので改修されて使いやすくなったら安心です。

▶災害発生時のボランティアバス運転委託料



50万円

たかの ますひろ
高野 萬壽廣さん(引水)

町の災害ボランティアに3回参加しましたが、行く人が少ないと感じていました。ボランティアバスの運行を機にもっと多くの人に参加して欲しいと思います。

▶街灯・防犯灯のLED化関連



3,967万円

こうらぎ みつあ
興梠 美智雄さん(大津東)

中高生が部活などで帰りが遅くなると真っ暗だったので心配していました。防犯灯が設置されるということで喜びの声が上がっています。

その他新規事業

▶公式LINE配信 ▶総合戦略策定 ▶防災行政無線設置状況調査 ▶人権に関する町民意識調査 ▶飼い主のいない猫避妊去勢補助 ▶災害廃棄物撤去補助 ▶児童家庭相談システム ▶環境保全型農業 ▶片俣地区ほ場整備 ▶雨水対策等調査 ▶公営住宅長寿命化計画 ▶生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり調査 ▶教育支援センター改修 ▶生涯学習センター高圧設備更新 ▶図書館LED照明器具レンタル

6月定例会は、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で6月8日から17日まで10日間の会期で開きました。

町長提案の一般会計補正予算をはじめ条例改正など14議案が提出されました。活発な質疑が行われ、最終日には人事案件(副町長に佐方美紀氏を選任)など2議案を審議し、全て全員賛成で可決、承認、同意しました。

一般質問には11人が登壇しました。一般質問者が10人を超えたのは平成28年9月議会以来です。

新規事業の中からいくつかを町の皆さんの声と共にお知らせします

▶18歳までの医療費無償化



1,073万円

くまもと らあき ひろみ
隈元 良櫻くん 広美さん(美咲野)

高校生まで医療費が無償化されて、親の負担が軽減されて良かった(良櫻くん) 子どもが多い世帯には経済的にとても助かります(広美さん)

▶大津中学校の再生整備計画



968万円

まつおか けいたつ
松岡 慶龍さん 大津中学校生徒会長

現在の大津中学校では、所々に危険な箇所があり、建物の老朽化が目立つ部分が多く存在しています。学校の設備など学習環境を整えることで、生徒が安心して過ごせる学校になると思います。早く新しい校舎になることを楽しみにしています。

▶南部地区交流広場整備



8,614万円

まつおか しんいち
松岡 新一さん(下陣内)
江藤家住宅守ろう会会長

整備はともありがたいが維持管理が心配である。せっかく整備されるのだから、沢山の方に江藤家住宅にお越しいただきたい。

▶新駅設置と周辺エリアの調査



905万円

いの のぶひこ
井野 伸彦さん(引水東)

頼りの公共交通機関のバスが減便され、通学・通院・買い物等スポーツの森利用者増のきっかけになるよう、新駅に期待します。



議会で答弁される皆さん 抱負をきいてみました



かなだ ひでき
金田 英樹
町長
住民の皆さまに寄り添った政策と分かりやすい説明に努めます。



さかた みき
佐方 美紀
副町長
町のため、町民の皆様のために全力を尽くします。



きら ちえみ
吉良 智恵美
教育長
議員の皆さまのご意見を伺いながら、町教育行政の振興に尽力します。



ふじもと せいじ
藤本 聖二
総務部長
コロナ禍にも負けず、住民視点での行政サービスに努めます。



やの こういち
矢野 好一
健康福祉部長兼
コロナ対策室長
まずはコロナ対策に全力傾注。住民の方が元気で幸せであるよう精一杯に努めます。



さかもと みつなる
坂本 光成
住民生活部長
町民の皆さまが暮らしやすい生活環境づくりに努めます。



はぐま こうじ
羽熊 幸治
教育部長
子どもたちが夢を育み夢をかなえられるよう環境づくりに努めます。



たのうえ かつや
田上 克也
産業振興部長
住民の方々の視点に立つて、わかりやすい説明を心がけます。



むらやま りゅういち
村山 龍一
都市整備部長
町の都市の整備状況を皆さまに分かりやすく説明し、ご理解いただけるように答弁いたします。



しろいし ひろのり
白石 浩範
総務部次長
信頼される職員を目指し、より良い行政サービスに努めます。



もとだ せいごう
元田 正剛
会計管理者兼会計課長
公金の安全・確実な出納及び保管に努めます。



たかはし かずひで
高橋 和秀
農業委員会事務局長
優良農地の保全に努めていきます。

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	桐原	荒木	津田	永田	坂本	大塚	佐藤	豊瀬	山本	山部	三宮	大塚	田村	時松	田代	大村	賛成	反対
	則雄	俊彦	桂伸	和彦	典光	龍一郎	真二	和久	富夫	良二	美香	益雄	秀貢	智弘	元氣	裕一郎	(○)	(●)
「学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書」の提出について	-	●	欠	●	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	●	5	9
「コロナ感染症防止最優先、東京オリンピック・パラリンピックの開催中止、延期を求める意見書」の提出について	-	○	欠	●	●	●	○	●	●	○	○	●	●	●	●	●	4	10

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は賛成 ●は反対 棄は棄権 欠は欠席 早は早退
その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

[大津町議会](#) [検索](#)

議員の視点 (発言の一部を抜粋して掲載しています)

山部 良二議員

病児病後児保育を利用する場合に事前登録が必要だと思うが、多くの方々に登録してもらうための周知方法は、キャンセル料はかかるのか。

答 事前登録は必要だが利用の際でも登録はできる。準備が整い次第登録を始めていきたい。キャンセル料は必要ない。

佐藤 真二議員

高校では部活動でのケガが多い。義務教育であれば部活動は学校体育としての位置づけだが、高校になると競技性が高く選択的に行なっている。リスクをおおっている中でケガをしたものに対して公費で補償するということはどうなのか。厳密な定義が必要ではないか。

答 部活動加入者には保険の加入が義務付けられているので保険が優先される。制度設計については先行して実施している自治体を参考にして対応していきたい。

永田 和彦議員

無償化の対象年齢を拡充すると町の負担が増えるということだが、それに対して過剰診療を防いだり、予防に努めるなどルールを作る必要があると思うが、そのような取り組みはどのようにしているのか。

答 過剰受診を減らして医療費を抑えることが必要だと思う。そして、必要の人に医療を受けていただきたい。ジェネリック医薬品の利用促進などに力を入れていきたい。

豊瀬 和久議員

通常であれば防犯灯は電柱や支柱に取り付けて、電線から電気を供給するが、今回の場合は、歩道ガードパイプに設置予定だが、どのような防犯灯を、どのような方法で取り付けて、電源はどのようにするのか。

答 ソーラーとLED防犯灯がセットになっている製品をガードパイプに取り付ける。設置場所の高さが低いので防犯対策も行なっていく。

大塚 龍一郎議員

南部地区交流広場のトイレや東屋の位置は景観と合わせて整備することになっていたが、計画されている場所はどうかと思う。場所を変更する考えはないか。

答 トイレと東屋の位置は、設計に入る前に地元の意見を聞きながら検討してきたが、どうしても進入口の問題での配置となった。再度、地元と協議したい。

山本 富二夫議員

カーブミラーの設置について要望の数を越えた場合の対応はどうか。

答 以前からの要望に応えきれっていない所もあるので前倒しで設置していきたい。今後も十分に要望を踏まえて必要な場所に対して予算の中で対応したい。

時松 智弘議員

有害鳥獣の生息地域は広大なことから菊池都市2市2町のみならず近隣市町村との連携により有害鳥獣からの農作物被害や住民被害を防げないか。

答 サルの群れが山中を長距離移動しているとの調査結果もあり、今後近隣市町村との具体的な連携をとって広域連携で対策することを検討する。

三宮 美香議員

防災無線は町と消防で使用する。火災などは消防でその他は町。先に消防がシステムを変更されているが、なぜその時に連携してできなかったのか。

答 今回の事業は、新たな開発地域に新設で設置するために調査するもの。

経済建設委員会 レポート

コロナ禍での商工会の負担を 軽減するために



大津町商工会の皆様

◎ 商工会への助成金は
 ◎ 資金の借入れや、持続化給付金の相談が増えており、商工会の負担も大きくなっている。商工会助成金に関しては充分なのか。
 A 今回は新型コロナウイルス対策に特化したところで増額をお願いしたところである。今後、商工会で必要なことが出てくれば予算措置等考えて行く。

◎ あげぼの団地の改修は
 ◎ あげぼの団地の収支計画はどうなっているのか。
 A あげぼの団地7号棟の改修事業については2億2千万円の工事費用を計上している。残り10棟の改修についても長寿命化計画を策定する中で重要課題として検討する必要があると考えている。



あげぼの団地の視察

文教厚生委員会 レポート

安心して 産み育てられるまちへ



対象
中学3年生
(15歳の3月末)
まで



対象
高校3年生
(18歳の3月末)
まで

◎ こども医療費18歳まで助成拡充へ
 ◎ 過剰受診抑制の具体的な取り組みは。また、部活動などの怪我への対応は。
 A ホームページや広報、新規対象者には申請書に過剰受診、医療費抑制の案内を同封し啓発を図りたい。また、学校生活・部活動・クラブ等での怪我はスポーツ保険の対象となるので必要な周知を行う。

◎ 図書館LED化へ
 ◎ LED照明器具についてのレンタルのメリットは。
 A 初期投資を大幅に抑え、経費を平準化することができ。その為、早期着工が可能となり、経費削減効果が早く見込める。また5年間のレンタル期間中は保証期間でもある。レンタル期間終了後は町へ無償譲渡となる。



おおづ図書館

委員会レポート

文教厚生

経済建設

総務



総務委員会・経済建設委員会・文教厚生委員会の3つの委員会があります。議員は必ずいずれかの委員会に属しています。本会議にて各委員会に委ねられた議案は委員によるさらに深い審議を経て、委員長が議会で報告します。

総務委員会	総務・企画・会計・監査、環境、住民、議会
経済建設委員会	経済、土木、工業用水道、農業
文教厚生委員会	福祉、子育て、教育

総務委員会 レポート

補正予算による 住民生活の更なる充実を



スポーツの森と豊肥本線

◎ スポーツの森新駅の調査について
 ◎ スポーツの森新駅調査は今年度内に公表出来るのか。
 A また前回調査時から劇的に新駅利用者が増えるとは思えない。調査委託は受当か。
 A 調査結果は今年度内に公表し、その後方針を検討する。将来の町の人口減少予測も考慮し、今後を見据えた計画となるよう調査を踏まえ検討する。



飼い主のいない猫に対する対策は

◎ 飼い主のいない猫の避妊、去勢への補助は初めての取り組みだが、概要は。
 A 県や動物愛護団体が行う補助と並行し実施するもので10頭へ補助する。広報誌等で周知を行う。

◎ 意見 新駅の事だけでなく、南阿蘇鉄道の乗り入れや空港アクセス、乗合タクシー等を総合的に整理してもらいたい。

Q 出先の伝承館などの施設の統合・廃止等を

A 国からの補助金等があり、今は現状維持を



8 山本 富二夫議員



大津町歴史文化伝承館

Q 新庁舎が出来た今さらできる、出先の伝承館などの維持管理費、約三千万の削減をすべきだ。統合・売却・リースを進めるべきである。

A 歴史文化伝承館は、以前から図書館との併設が利用面での相乗効果が図られ理想だと考える。新庁舎も完成し、周辺整備も考える必要がある。町中心部活性化に向けてあるべき姿を検討・協議していきたい。

Q 施設の維持管理には多額の税金が掛かっている。民間委託、指定管理等も含めて幅広く、4施設に関わらず考えていく。(町長)

A 前向きな回答を期待したが、残念な回答だ。全然統合しようという気持ちが出らない。

A 民間委託や新庁舎移行という考えも理解は出来るが、今の施設を生かす方向で考えていきたい。(町長)

その他の質問

・コロナワクチン接種の取組みについて

Q 交通量の著しい交差点利用者の安全対策は

A 地域交通安全プログラムを軸に整備を進める



3 時松 智弘議員



町内の通学路交差点

Q 交通量の増加する町道等において交差点での渋滞が発生し、児童生徒の安全確保には、より一層の配慮をする必要がある。大津町通学路交通安全プログラムで通学路の状況把握と対策に触れているのはその観点からだ。文教地区と商工業地区の交通安全の醸成施策は大津町の最大の利点となり、雇用の促進や住民の流入を促す。逆にこの安心安全が担保できなければ、町の魅力を半減させる。防災ネットワーク軸としても重要な町内主要道路の周辺整備において、地域の将来にかけての交通政策と早急な安全対策は。

A 学生の通学経路や高齢者などの安全確保がますます重要であり、行政区長さん、交通委員さん、PTA関係者、小・中学校の方々による見守り活動に心から感謝する。波瀾緩和策として、時差式信号や矢印信号の設置協議を警察と始めていく。更に朝の通勤時間帯での定期的な街頭指導や、カラー舗装等によつて、交差点利用者へ注意喚起し改善を図っていきたい。(町長)

A 事故を未然に防ぐ観点から重点的に予算を計上する。また交通安全対策協議会でPTA関係や警察、その他団体と協議していく。(総務部長)

その他の質問

・コロナ禍の現状を踏まえた一般廃棄物の処理とごみの減量化の推進について

一般質問

町政を問う 6月定例会

一般質問に16名中11名が登壇



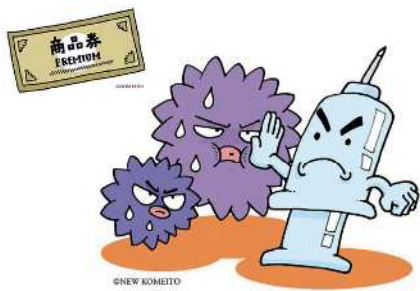
町のさまざまな問題・課題について、議員が町に考えを問うのが一般質問です。議員は政策提言も含め、質問することができます。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせします。一般質問の記事に関しましては、会議録のコンテンツに基づき作成したものを掲載しています。

Q 2回のワクチン接種を完了された方に商品券を

A 接種率向上と地域経済の振興につながる工夫を試みたい



9 豊瀬 和久議員



Q 熊本県にもまん延防止等重点措置が適用されるなど、大変な中でご協力をいただき、2回の接種を完了された方々に感謝するとともに、町民にワクチンを受けようとの気持ち喚起し、接種率を上げるための特典として、また、買物や外食の際などに利用してもらうことで、地域経済の活性化にもつながっていくように、2回の接種を完了された方に、町内で使える商品券を贈呈してはどうか。

A ご提案の勧奨策及び町内の企業や事業所と連携した人への割引制度などの仕組みづくりも含めて、接種率向上と地域経済の振興につながる工夫を試みたい。(町長)

A 2回のワクチン接種を済まされた方々に対しては、町内の事業者や企業への経済振興策にもつながるよう、ご提案の勧奨策の実施について、関係課等と協議を進めています。(健康福祉部長兼新型コロナウイルス感染症対策室長)

その他の質問

・LGBTなど性的少数カップルの関係を公的に認めるパートナーシップ制度の導入について

・時代に即した魅力のある健康ポイント事業の導入について

・ポトルディスペンサー式水飲栓（給水スポット）の設置について

Q メガソーラーを有する地域のサポートは

A 地域住民の安全と安心を第一に考えていく



1 大村 裕一郎議員



ソーラーパネル

その他の質問
・バイオ炭について

Q 大津町では現在メガソーラーが16箇所あるが、メガソーラーを有する地域からは山林を伐採することによって土砂崩れや川の氾濫等がおきないかと多くの不安の声が上がっている。そういった点を踏まえた上で、今後、メガソーラーを有する地域をどういった形でサポートして、尚且つ再生可能エネルギーをどういった形で推進していくのか。

A 発電施設を設置するための諸条件や自然環境への配慮など、まずは地域住民の方々の安全と安心を第一に考えていきたい。その上で、行政、事業者、地元住民がお互いに連携しあい、情報交換を図りながら脱炭素化社会の形成に向かって取り組んでいきたい。(町長)

Q 障がいのある方々に対する合理的配慮の提供を

A 障がいのある方への自立と社会参画を推進していく



7 山部 良二議員



その他の質問
・コロナ禍の生活困窮者支援(生活保護・生理の負担など)
・命を守る流域治水

Q SDGs 誰一人置き去りにしない政策を推進するため、障がい者に対する合理的配慮の提供と障がいの理解が重要である。具体的には折りたたみ式スロープや筆談ボードの購入や点字メニューの作成など民間事業者や地域の団体が障がいがある人に必要な合理的配慮の提供をするための環境整備に対する費用を助成する必要があるのではないか。

A 合理的配慮を民間事業者に義務付ける改正障害者差別解消法が成立し、3年以内の施行に向けた準備が開始される。町では国の今後の動向を注視しつつ、民間事業者や地域での合理的配慮に基づき、環境整備に対する支援体制作りが課題であり、ハード・ソフト面を合わせた先進自治体の取り組みを調査・研究を行うっていく。(町長)

Q 町民の安全・安心、公共の福祉増進のための道路整備を

A 町道認定基準、認定申請の要綱整備改善を図る



15 荒木 俊彦議員

大津町の町道整備状況と類似団体との比較

	自治体	人口	面積(k㎡)	認定道路延長距離(m)	一人当り距離	面積当り距離	順位
熊本県	大津町	32,397	99	268,491	8.3m	2,709m	5
福岡県	みやま市	39,859	105	989,108	24.8m	9,401m	1
	うきは市	31,129	117	703,445	22.6m	5,989m	2
佐賀県	神埼市	32,476	125	479,606	14.8m	3,837m	3
	嘉島市	30,513	112	340,673	11.2m	3,042m	4

道路法 第8条 市町村道 路線の認定(要旨)

- 市町村道とは…市町村長がその路線を認定したものをいう。
- 市町村長が…路線を認定しようとする場合、議会の議決が必要。

※ 市町村道の認定要件は、法の規定がなく、市町村の判断基準で認定される。

その他の質問
・乗合タクシー、公共交通の改善・充実を急いで

Q 大津町の道路は、町道認定と整備が遅れているのではないかと。類似団体と比較して大津町の人口や面積当り町道と認定された道路が非常に少ない。

A ①住民の理解や利便性向上に向けた道路網図や町道認定路線のネット情報公開を進めていく。
②町道認定基準や認定申請について、詳細な要綱を整備して改善を図る。
③町道と認定されていない生活道路、町所有となつている道路のうち、認定基準に合致している路線については、地元の方々と相談しながら認定を進めたい。また道路改良や整備が必要な路線については、町道認定を行い、道路整備を順次進めていく。(町長)

Q よりよい情報発信ツールとしての運用を

A 高いレベルの情報発信ができるよう取り組みたい



2 田代 元気議員



大津町公式LINE

その他の質問
・ワクチン接種について

Q LINE公式アカウントが運用され1年が経過した。これまでの情報発信でよかった点、反省すべき点があったかと思う。

A 今年度は情報関連の部署を一元化している。利用者が欲しい情報を登録し、必要な情報が届きやすい環境を構築し、単に情報を発信するのではなく高いレベルで情報発信できるようしっかりと取り組みたい。(町長)
A タイムリーな情報を発信することが一番である。今後は防災無線、からも君便り、LINEが一元化できる体制づくりに進めたい。(総務部長)

Q 増え続けている空き地・空き家対策の工夫を

A 先進事例を参考に取る



6 三宮 美香議員

いほから知っておきたい
私の終活、家の終活セミナー

暮らし終活から家族の終活、思いや願いが伝わるように終活をすすめる。暮らし終活から家族の終活、思いや願いが伝わるように終活をすすめる。

日時 6月28日(月)午後1時30分～午後3時
場所 文化センター大研修室
定員 40名

セミナー内容
①空き家問題の何が問題か
②空き家に関する諸制度・補助事業
③個人ができる事
・相続問題(認知症対策)
・税金対策
・利用可能な物件として維持をする(CDI・管理委託)
④業者とできること
・不動産業者に話す(売買・賃貸)
・契約対策
・空き家管理システム

本講座は、空き家の管理・活用についてお話しするもので、苦情や要望をお伺いする場ではありません。講座を聴講の上、お申込みください。

Q 空き地・空き家が増えている。町の方からも放置されている状況もあって、危険であり不審者などによる犯罪の温床や放火や火災の被害に遭いやすいと心配の声があがっている。地震後に空家の調査をされ空き家対策協議会も開催されているが空き地・空き家が解消されていない。

A 空き家の所有者への意識啓発を行うとともに、空き家バンク制度のより一層の周知と利活用を進め地域住民の生活環境の改善につながる取り組みを行っていく。(町長)

A 先進事例の取り組みを参考にしながら、相談体制の整備を行い地域住民や事業者との連携を深めながら対策に取り組んでいく。(総務部長)

Q ジェンダーギャップについて

A 意識向上に向けた取り組みが必要



13 永田 和彦議員



Q ジェンダーギャップが町発展の阻害要因とならぬよう対策は不可欠である。

A 世界の政財界のリーダーが集うダボス会議を主催する国際機関 WEF(世界経済フォーラム)は、ジェンダーギャップを埋めることは、女性の権利の問題であると同時に、経済発展にとっても重要と指摘している。

A 対策の基礎として男女の違いとステレオタイプについての認識を高める必要がある。

A 町でも、家庭や地域、学校や職場などで啓発を進めていくが、男性の問題、女性の問題といった視点ではなく、男女双方の課題として意識向上に向けた取り組みが必要と考える。

A 役場内部においても、男女ともに家庭にやさしい制度をつくることも、ジェンダーの視点から公平なキャリア形成、人事配置、昇進機会の提供などを行いながら、インクルーシブな職場を率先してつくる必要があると考えている。(町長)

その他の質問
・初等教育の評価基準について

Q ヤングケアラー問題をどう推進するのか

A 早期に、実態を把握して対応していく



5 大塚 益雄議員

ケアの事例

精神疾患などの親をささえるながら家事や買い物
障がいのある若者が介護を必要とする
高齢の祖母を介護し、夜間も見守る

政府が示した主な支援策

- 自治体による現状把握の推進
- 福祉、介護、医療、教育などの関係機関や、専門職らへの周知や研修
- 当事者の集いの場や、SNS相談体制の整備
- 学校や福祉など多機関連携で支援するノウハウを盛り込んだマニュアル作成
- 幼い子どもをケアする子どもがいる家庭への、家事や子育て支援の制度検討

その他の質問
・災害に対する備えについて、対応について

Q 現在社会問題化しているヤングケアラーの現状について町と教育委員会は、把握しているのか大津町にも存在しているのか。また、ヤングケアラー問題に対してどのような対応を考えているのか。本町の実態把握と対策が早急には必要ではないか。

A 本町においてもヤングケアラーとしての事例を数件確認しており学校保育所福祉等の関係とのケース会議等で支援策を検討し見守りを行いながら適切な支援を実施している。今後は、町としてもヤングケアラー啓発を行い早期に実態を把握し

A 適切な支援に努めていた。また学校や関係機関、民生委員、地域との連携体制強化を図り支援を行っていく。(町長)

A 学校現場においては、現在も学校を休みがちになつたり、精神的な不安定さが見え出したりなど、学校における様子の変化に常に目を配りながら、児童生徒の置かれた生活環境の把握に努めた。今後はさらにヤングケアラーの視点からも児童生徒の生活を捉えたい。(教育長)

Q たくましさを養う教育

A 建設的な議論ができること



12 坂本 典光議員



雑草のようにたくましく

その他の質問
・より良い変革について
・受付窓口の対応について

Q 最近、世界情勢が急速に変化している。一つはデジタル革命が進行中というところ。もう一つは中国の台頭である。

A 中国は共産党主導の専制主義で運営されている。ネット経視の海外情報と発信は監視、制限されているといわれている。日本は、自由、平等、人権、民主主義の価値観を持つ国々の中でたくましく生きていくべきだと多くの評論家は述べている。知識や優しさだけではなく、たくましさも兼ね備えた個人を育てるべきではないか。

A 様々な知識や語学力は前提として、年少の頃から異なる文化や環境に触れ、国際的な視野及び多様性を尊重できる価値観を身に付けること、さらに、物事を突き詰めて考えるとともに、自らの考えや立場を明確にしながらか一方的ではない建設的な議論ができる、そうした素養を養うことだと考える。(町長)

A 新学習指導要領では正解主義や暗記主義から脱却した学びを目指す。自分自身として自己を確立することが大事である。(教育長)

若者の視点

尚絅大学生によるレポート 24

オンライン傍聴



令和3年第3回大津町議会定例会をオンライン傍聴し、その後教室で3つの班に分かれてグループディスカッションを行いました。

〈全体の感想〉

・様々なジャンルの質問に対して明確な答えを出していた。
・通告内容は他の地域の行政を参考にしていたり直接かわっていている人の声を取り入れたり説得力があった。

A班

坂本(文責)
池田・井口・大津・左藤・鍋田・松本

・多くの意見を議会に反映させるために町民の意見に耳を傾けて取り組まれている姿に胸を打たれた。

〈私たちの声〉

・障がい者が健常者と同じ日常生活を送るためには多くの民間企業や地域の団体の参加が必要不可欠ではないか。そのためにも、市町村からの助成と民間への働きかけが必要。
・ワクチン接種会場について熊本にも多数施設があるため、東京と同じような取り組みができないのかと疑問に思った。
・質問するときの前置きが長いと思った。

B班

正岡(文責)
石江・印丸・佐土原・高田・西

〈全体の感想〉

・オンラインでの傍聴は聞き取りづらかったため、次は実際に現場で傍聴してみたい。
・やりとりが速く、情報量が多い。
・質問のジャンルが幅広く、様々な課題に言及していた。
・参考資料を提示し、他の市区町村の状況にも言及し比較がなされていた。

・以前の議会から持ち越され、繰り返し行われる質問もあった。それだけ「町の為」にこの問題を解決したい」という議員の方々の熱意を感じた。

〈印象に残った質問〉

ポトルディスプレイ式水飲栓(給水スポット)の設置について

〈感想〉

・既に熊本市には七か所に設置してあるということを知らない町民も多いのではないか。
・「二酸化炭素排出削減につながる」こと、「町の豊かな水資源のPRになること」などのたくさんさんのメリットを大々的に公表することで町民の方々も積極的に応援するのではないか。

〈印象に残った質問〉

「新型コロナウイルスワクチン接種を着実かつ迅速に進めるための取り組みについて」
2回目の接種を完了した人の特典として商品券を配布する。

C班

坂口(文責)
清水・早田・橋本・横山・藤本

〈感想〉

・ワクチン接種の促進だけでなく地域や経済の活性化に繋がるため、町のことを様々な角度で見ているのだと感じた。

〈印象に残った質問〉

「大津町の生活保護捕捉率を含めた生活保護状況について」
令和3年度の時点で、182世帯が受給している。そのうち101件が高齢者世帯。

〈感想〉

・高齢者世帯が多い背景には、年金の少なさも関係しているのではないかと考えた。

